

# 茨城

## 住民担当者茶話会で「観察」、家訪問

牛久市の岡田小学校区地区社会福祉協議会(鈴木朗会  
長)が先月、独り暮らしや寂れたまきりのお年寄り一人に対  
し、住民一人以上の担当者を充て、日常的にサポートす  
る「1対1」見守り活動をスタートさせた。市内の八小  
学校区で初めての試み。茶話会で顔色を観察するなど、  
さりげなく気配りをする活動は、地域で高齢者を支える  
取り組みとして示唆に富んでいる。(坂入基之)

### 牛久の岡田小学校区社協



コーヒーを飲みながら世間話をする見守り活動＝牛久市の松ヶ丘自治会館で

見守りの対象者は、協議会で  
「地域で見守らなければ…」と  
判断した百九十三人で、最高齢  
は百一歳。一方、見守る側の担  
当者は四十五歳以上の二百三十  
七人だ。見守っているお年寄り  
に何かあった場合、直ちに民生  
委員や緊急連絡先などに知らせ  
る役目を担う。

見守り方法は、防犯パトロー  
ル中に立ち寄りたり、新聞、牛  
乳の配達状況を見て判断した  
り、家上がり込んで世間話  
をしたり、小学校区の十二行政  
区(自治組織)によりさまざま  
だ。

鈴木会長(左)の松ヶ丘行政区  
の取り組みはユニークで、毎週  
土曜日に自治会館で一杯五十  
円で「コーヒーを飲むまい」、喫茶  
店並みの味を求めて集まる高齢  
者の表情で健康状態を判断す  
る。

こうした見守り活動を始めた  
のは、小学校区内で起きた高齢  
者の孤独死がきっかけ。協議会  
の話し合いで「地域における住  
民同士の見守りが必要」と意見  
が一致した。昨年二月から協議  
を重ね、今年二月二十四日に、  
正式にスタートした。

鈴木会長は「世間体を気にす  
る高齢者や、認知症の高齢者の  
存在など、見守り活動での課題  
は多い。これから一つ一つ課題  
を解決し、一歩一歩だが、前に  
進んでゆきたい」と話してい  
る。

郵送でも借ります！  
**常陽マイカーローン**  
常陽銀行

県内の天気  
立戸浦  
きょうの予想 (水戸)